

岸和田は昔話の宝庫（3）葛城仙人「雨乞い編」

杉山 優子

私たちおじかくらぶは、岸和田市で活動する人形劇サークルです。岸和田の昔話のなかから毎年 1 つ題材を決めて採話、文献や歴史資料の調査を経て台本を作り、人形劇にして上演しています。今回は、前回に続いて大沢町に伝わる「葛城仙人」の世界を、探っていききたいと思います。

雨乞い

「八大龍王から宝瓶を授かった若者が自分の村に来たとき、宝瓶からぽつと水を落とした。一滴だけ落とせばよかったものを一滴やなしに、二滴か三滴落とした。そうするとたちまち洪水になって村が流されてしまった」

故高見篤良先生から聞いた「葛城仙人」のお話は、思いがけない結末を迎えます。この話が意味することは何なのでしょう。



図 1. 葛城踊り（大阪府指定無形民俗文化財）

和泉葛城山の山頂には石の宝殿があり、次のような伝承があります。享保年間（1716～1736）、岸和田藩主岡部氏が山頂で白鹿を射とめたとき、一天にわかにかき曇り地軸が裂けるかと思うほどの雷雨になりました。その後、藩主は巨石で社殿を造り葛城一言主命、八大龍王をまつりました。以来、社は五ヶ庄（塔原・相川・河合・蕎原・木積）の郷社となり雨の神として信仰され、干ばつがあると藩主自ら参詣したそうです。嘉永 5 年（1852）の記録には、大干ばつのため山籠もりをして雨乞いをしたとあり、雨礼踊りは和泉葛城山の山頂で五ツ半時（午前 9 時）から始まり、五ヶ庄が続けて踊って終わった頃には日が暮れていたそうです。塔原町には今も、「葛城踊り（雨礼踊り）」が伝わり（図 1）、毎年 8 月 14 日に塔原の子どもたちが花笠をかぶり、たすきがけをして太鼓を打ちながら踊ります。明治に一旦断絶したものを塔原町の人々の熱意により昭和 30（1950）年に復活、江戸時代の様子

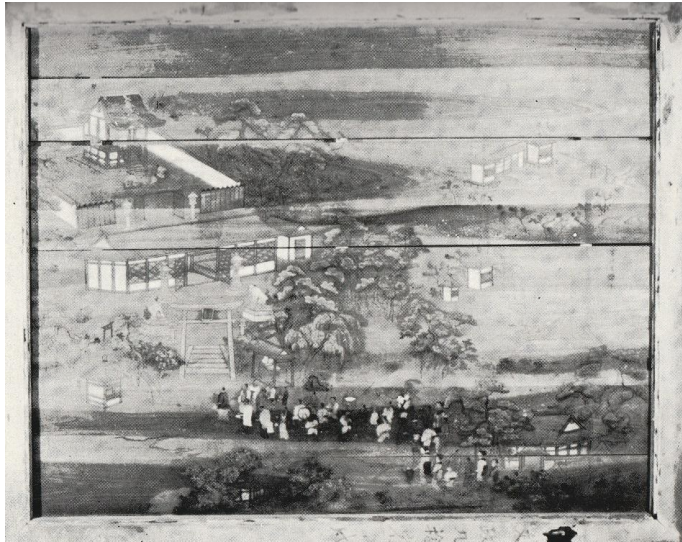


図 2. 夜疑神社の雨乞絵馬

を今に伝える貴重なものです。塔原町の「葛城峰宝仙山萬覚帳」からは、室町時代の風流踊りを受け継ぐ中世芸能の伝統も表されていることがわかり、雨乞いが長く受け継がれていたことがわかります。このほかにも岸和田市内には、「土生の鼓踊り」（土生町）「意賀美神社の雨降りの滝」（土生滝町）「阿間河谷五ヶ村の雨乞踊歌」（畑町、極楽寺町、流木町、神須屋町、八田町）「天降り（雨乞い）の面」

（西之内町兵主神社）「中井町・夜疑神社の雨乞絵馬」（図 2）「菅原神社の拍子踊り歌」（田治米町）「雨乞い踊り」（藤井町）など、たく

さんの雨乞い神事が行われてきました。今は分からなくなっているものもあるようですが、これだけの雨乞い文化が市内のあちこちにあったのを見ると、雨乞いが人々にとって、とても大切なことであったことがわかります。

一滴の大切さ

「葛城仙人」のお話では、「一滴が大切なんや」と八大龍王は伝えます。水がなければ生命は育まれないが、過ぎればまた生命を危険にさらす。ここには自然の恵みへの感謝と畏怖、自然とともに生きることの大切さと厳しさを感じます。和泉国という降雨の少ない地域で、古来からため池や川を整えて生きてきた人々から、現代の私たちへのメッセージでしょうか。私たちは未来の人たちへ何を伝えることができるでしょうか。そのことを、昔話を通じて伝えていくことができるでしょうか。

葛城仙人のおはなしは、次回もまだまだ続きます！

参考引用文献 和泉史料叢書「雨乞編」・葛城踊り記録保存報告書 塔原町葛城踊り保存会・大阪府志

自由研究のおすすめテーマ「ため池」

風間美穂

夏休みがはじまる時期に、自然資料館がよく受ける質問のひとつに「自由研究を行いたいけど、どのようなことをすれば良いかわからないので、おすすめを教えてください」というものがあります。実際に取り組む児童・生徒が興味のある分野や用意できる道具など、それぞれの背景が異なるので、答える側としては困ることもあるのですが、個々の事情を度外視すれば、岸和田市内に 400 近くある「ため池」をテーマにした内容をおすすめします。岸和田を含む泉州地域は日本有数のため池集中地域なので、これをテーマにすれば、他の地域では出来ないユニークな研究になることでしょう。次からは、ため池を調べる際のヒントやテーマの事例を紹介します。

ため池の基礎資料・身近な池の深さや大きさ、名前を知る

まずは、岸和田市内にあるため池の概要を調べてみましょう。その際には、大阪府ホームページの「特定農業ため池の指定やため池データベース等の公表について」というページに紹介されている「た

め池データベース」(PDF ファイル) がおすすめです。

https://www.pref.osaka.lg.jp/nosei_seibi/tokuteitameike/index.html

同じホームページで市町村ごとにまとめられている「ため池マップ」には、池ごとに ID が表示されているので、これを「ため池データベース」で調べると、池の名前や所在地、水面面積や、水深などの情報を知ることができます。(図 1)。

ため池と生き物・採集しなくても観察できるものもある

生き物に興味がある方は、池でみられる生物を調べてみてはいかがでしょうか。ため池に生息する生物には、魚類や昆虫類、貝類などがありますが、これらを採集するためには、池へ入る必要があります。自然資料館としてはこれらもぜひ調べていただきたいのですが、安全のため、学校では池へ入ることが禁止されている場合が多いことでしょう。そこで、池に入らず調査できる生物として、鳥をおすすめしたいと思います。特に夏休みの時期には、カイツブリ(図 2)やバン、カルガモなど、池で子育てをする鳥がヒナをつれています。どの池で子育てをしているのか、池のどのような環境によくいるのかなど調べると面白いことがわかるかもしれません。安全には十分注意する必要がありますが、暑さに弱い方は、夕方から夜にかけてのツバメの集団ねぐらやコウモリの集団をさがすというやり方もあります。夜の池も、けっこうにぎやかですよ。

ため池と防災・ため池ハザードマップを見よう

生物分野以外では、「ため池ハザードマップ」を使った防災の自由研究はいかがでしょうか。岸和田市内にあるため池では、下流に住宅などがある場合が少なくありません。全国の市町村では、こうしたため池を対象に、万が一決壊したときに備え、被害想定区域や避難場所等を表示した「ため池ハザードマップ」の作成が進められています。

このマップは防災訓練等に活用し、地域住民の自主防災意識の向上を図るとともに、地域の防災対策や災害時の被害軽減に役立てられています。岸和田市のため池ハザードマップは、岸和田市のホー

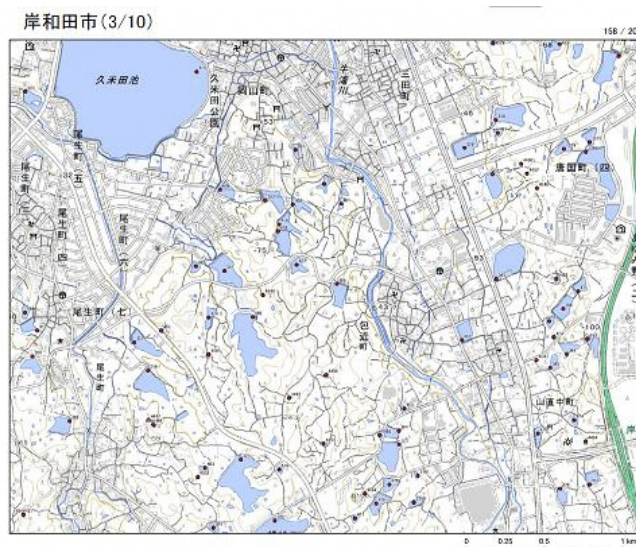


図 1. ため池データベース



図 2. カイツブリの親子(久米田池)

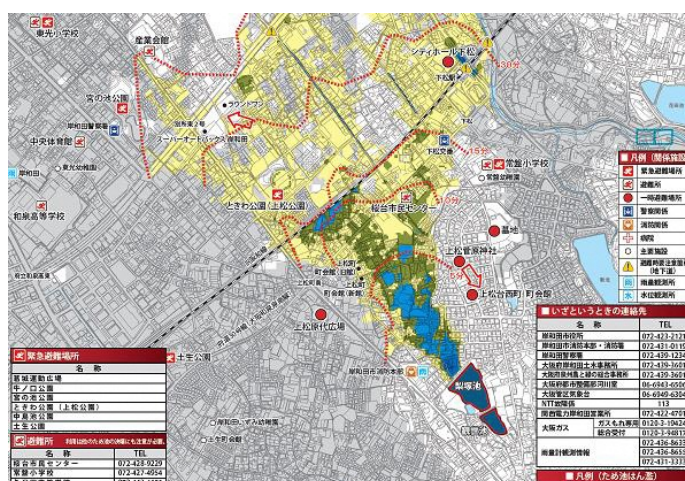


図 3. ため池ハザードマップ(岸和田市)

ムページ内で見ることができます。

◆岸和田市ため池ハザードマップ（農林水産課）

<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/42/tameike-hazard-map.html>

もし、身近な池がハザードマップに掲載されていたら、近所の避難場所との位置関係を考え、ため池データベースと見比べながら、身近な防災について調べる自由研究ができるでしょう。

きしわだ自然資料館には、ため池の自然を紹介する展示があります。また、久米田池の近くにある「久米田池交流資料館」では、久米田池の歴史に関連した資料を見ることができます。みなさんも興味があればぜひご覧ください。

（かざまみほ・きしわだ自然資料館）

Information

●自然資料館の夏休み行事

「自由研究相談会・前期と後期」

自由研究の研究成果のまとめかた、また、採集したもので分からないものの名前をお教えします。今回はオンラインでの質問も受け付けします。対面希望の方は申込み不要の先着順ですが、オンライン希望の方はメールでの事前申し込みが必要です。

日 時：2021 年 7 月 31 日（土、前期）・8 月 15 日（日、後期）午後 1 時 30 分～午後 4 時

場 所：自然資料館 1 階ホール

講 師：自然資料館学芸員ほか

対 象：自由研究に取り組んでいる方ならどなたでも。

オンライン相談は、Zoom が使える方

分 野：植物、昆虫、クモ、鳥、貝、魚（チリモン）、その他海洋生物、岩石・鉱物、化石

費 用：無料

申 込：当日午後 1 時～3 時の間に随時受付。オンラ

インの場合は、前期は 7 月 1 日から、後期は 8 月 1 日から電子メール（sizen@city.kishiwada.osaka.jp）で申込み。申込みの際には、希望する分野と質問内容を明記のこと。

●岸和田城の展示

「地域から見える^{なりわい}生業～海から山まで多様な岸和田～」

岸和田市の多様な地域性に焦点を当て、人々の暮らしの歴史を紹介します。

期 間：2021 年 7 月 22 日（祝）～2022 年 1 月 16 日（日）

場 所：岸和田城天守閣（岸和田市岸城町）

費 用：高校生以上 300 円（入場料）

問い合わせ：岸和田市郷土文化課郷土史担当（072-423-9689）

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5
きしわだ自然資料館
TEL: (072) 423- 8100 FAX: (072) 423- 8101
Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp
自然資料館ホームページ URL:
<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>

※お願い [fromM]は、学校教職員に 1 部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。